

食道癌・胃癌患者における栄養指標と癌の長期予後との関連に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2009年1月から2017年12月の間に当院において食道癌・胃癌に対して根治的手術を受けられた患者さん

2. 研究目的・方法

手術手技、化学療法や放射線治療の発展により、消化器癌に対する治療として癌の進行度のみならず患者さん個々の全身状態に応じた個別医療の概念が確立されてきました。近年、治療前の栄養状態と癌の予後との関連が示唆されており、治療法選択の根拠のひとつとなる可能性があります。

比較的新しい栄養状態の指標として、2005年に Bouillanne らが発表した血清アルブミン値、体重、理想体重で算出できる Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI)があり、これは消化器癌の長期予後との関連について相次いで報告がなされています。

今回我々は、当科における消化器癌に罹患された患者さんの GNRI と癌の長期予後の関連を明らかにするとともに、これに独自の項目を加え修正した新たな指標を提案して癌の長期予後に与える影響について検討します。精査の目的で行った採血のデータを使用するため、追加で行う検査はありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、採血結果、病理検体診断結果、病歴、CT画像 等。すべて対応表を作成した匿名化を行ったあとで研究に利用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連

資料 3

絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者：防衛医科大学校 外科学講座 講師 菅澤英一（研究責任者）

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1216